

道連ニュース

2009年9月号 No.39

北海道生活協同組合連合会

〒003-0803 札幌市白石区菊水3条4丁目1-3

全労済北海道会館内

TEL 011-841-8601 FAX 011-841-8605

URL: <http://www.doren.coop>

道連
報告

2009年度北海道防災総合訓練に今年も参加しました

9月1日「防災の日」、北海道主催の防災総合訓練が後志管内余市町（余市農道空港）で行われ、36実施機関、8民間協力期間、余市町民40名の合計600名で風水害想定訓練13、地震災害想定訓練42の55訓練が行われました。

北海道生協連は2005年11月に北海道と『災害時における応急生活物資供給等に関する基本協定』を締結し、災害時に道の対策本部から要請があれば緊急の生活物資を供給・輸送することになっています。また、生活協同組合コープさっぽろは同趣旨の協定を道内18市3町と結んでいます。

当会はその協定内容を災害時に実行できるように、実務は道内全域に商品供給網を持つコープさっぽろに委嘱しており、2007年度から道主催の「防災総合訓練」にコープさっぽろと一緒に参加して、緊急要請の通信連絡と物資搬送訓練を行っています。今年もコープさ

っぽろトドックの配送トラックが、同趣旨協定を結んでいる北海道コカ・コーラボトリング株など他の4社とともに参加し搬送訓練を行いました。



余市農道空港で実施された北海道防災総合訓練：先頭車はコープさっぽろトドック配送トラックです

北海道・東北地区行政生協連絡会議が 10月22日・23日の両日、札幌で開催されます

北海道・東北地区行政生協連絡会議が次の要領で開催されます。この会議は、生協と行政が情報交換の上、連携を深め、組合員・県民のくらしと地域社会に一層役立つことを目的に毎年、県の持ち回りで実施しています。今年も、北海道が主催地になります。道連理事・監事様の参加へのご配慮をお願いいたします。

開催スケジュール

日	時	会場	日程
10月22日(木)	13:30 ~17:15	道立消費生活センター	1. さっぽろ高齢者福祉生協施設見学 2. 事例報告「生協の福祉活動」
10月23日(金)	9:30 ~11:30	北海道赤レンガ2階1号会議室	1. 北海道地域主権局報告「道州制の実現に向けて」 2. 各道県から情報交換「地方消費者行政活性化計画」

コープくらしの相談室

7月期の相談件数は138件、 相続・遺言が23%を占めました！

コープくらしの相談室…電話 011-841-9110 受付時間 午前9時30分～午後3時30分

「コープくらしの相談室」は、2006年7月3日に開設し、3年が経過しました。相談件数も徐々に伸びていますが、特に7月期の相談件数は、コープさっぽろ宅配トドックに折込宣伝チラシを入れた影響により138件と大幅に伸びました。1日中電話が鳴り続け、相談員が嬉しい悲鳴をあげた日もありました。

相談内容は「相続・遺言」、「多重債務」、「家族・親族・隣人」が上位を占めました。「遺産分割の話がまとまらない」、「過払い金返還請求をしたい」、「賃貸住宅退去の

際に高額な修繕費を請求された」など様々です。又相続・借金など家庭内の問題はなかなか相談できる場がないようです。

詳しくお話を聞きまして問題解決のためにアドバイスをさせていただき、内容によっては専門の相談窓口をご案内しています。引き続き「コープくらしの相談室」が組合員の皆さまに広く周知されるよう努めていきます。

▼相談内容上位5位

順位	相談内容	件数	主な相談内容
1	相続・遺言	31	相続財産をどう分けたいか。相続の手続きについて知りたい。相続税はどの程度か。誰が相続人になるのか。
2	多重債務	14	債務の返済が困難になった。過払い金返還請求はできるか。金利が高いのではないか。
3	家族・親族・隣人	13	中学生の娘の様子がおかしい。離婚したら財産分与はどうなるか。隣家の木の枝が私の敷地にはみ出している。
4	生協関連	13	コープさっぽろの組合員になりたい。出資金について問い合わせたい。トドックを申し込みたい。
5	賃貸住宅トラブル	12	退去時に高額な修繕費を請求された。1年ほど家賃を滞納されて困っている。

生活クラブ生協

フィービラの森 秋企画

「あつまれ、街に隠れたガウディーたち」

9月13日 オブジェづくりを楽しんだフィービラの森



「古平の海を育む森づくり」は、2002年に消費材の産地である古平町に、5haの土地を購入し

し始めました。これまで植樹や、菜の花プロジェクトへのチャレンジ・自然エネルギーの活用など環境活動実践の場として活用してきました。そして、組合員が自然を身近に感じられる場として、観察会やかんじきウォークなどの楽しい企画も行ってきました。

今年はフィービラの森に豊富にある自然素材を活かした「オブジェ作り」に挑戦しました。札幌出発時には中止もありえる雨模様でしたが、参加者20人が森に着

くと急に晴れ間がひろがり製作開始。私たちを悩ませてきたイタドリを骨組みにし、壁面はすすきを使い隠れ家の出来上がりです。飾りつけは子どもたちの工夫で、お花いっぱい玄関になりました。草花を彩ったオブジェも完成し、みんなで記念写真をパチリ。子どもも大人も楽しんで、自然と遊んでいる様子が微笑ましく映りました。終了後、どしゃ降りの雨の中、焼肉を食べ、北海道景観100選の金賞を受賞した「チョペタン林道」を視察し、帰札しました。大荒れの天気の中でのイベントとなり、参加者には自然を目のあたりにした忘れられない1日になったのではと思います。



完成したオブジェ

コープくらしの助け合いの会

第1回開催地の苦小牧で

「第5回全道交流会」が開催されました

8月29日(土)、学習と活動交流を目的にスタートした「コープくらしの助け合いの会の全道交流会」が最初の開催地・苦小牧で第5回が開かれました。今では道内7地区に広がった各支部の事務局や援助会員、賛同会員、そして組合員活動部の方々など90名が参加、企画・運営は苦小牧地区の事務局・組合員活動部が中心となり受入れの準備をしました。

前半の部は、「老いを楽しく前向きに生きるために」をテーマに北海道メンタルケアセンターのディケア部長・田口功氏をお迎えして学習講演。利用者の高齢層に対する理解や対応の仕方について事例を挙げて時にはユーモアを交えるなど大変分かりやすく話されました。後半の部は宮代表をコーディネーターに、コープさっぽろ福祉活動交流支援センターから「くらしの助け合いに期待する事」、7地区事務局からは各支部の2008年度の活動報告や援助活動でのいい話・うれしい話などが順次報告されました。次

老いの事実を素直に受け入れることが大切と話す田口講師



のグループトークでは、日頃の活動から事務局に聞いてみたいことを討議。その後会場から援助者として困ったことや意見、要望などが活発に出され、その質疑に対し各事務局が丁寧に応えました。各地区の事務局と会場が一体となり、この会の広がりや知らせる活動など様々な課題が出され共有しあい分かち合った有意義な交流会でした。来年の主催地は札幌です。



90名が参加した苦小牧での全道交流会

10月期活動予定

- ・10月1日(休) 第3回理事会
- ・10月2日(金) ユニセフ担当者交流会
- ・10月22・23日 北海道・東北地区行政生協連絡会議
- ・10月23日(金) 第1回監事会